



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1165 2019年4月1日



2019年度の事業年度を迎えて

一般社団法人電波産業会
事務局長 松井 房樹

当会は、4月1日から2019年度の事業年度に入りました。お蔭さまで、この一年間、主要業務である通信・放送分野の調査研究、研究開発、標準規格の策定、マイクロ回線の混信計算等の照会相談業務など、いずれも順調に推進することができました。これもひとえに会員の皆様のご協力や関係機関のご支援、ご協力の賜物であり深く感謝いたします。

2019年度につきましても、去る2月21日に開催されました第25回理事会においてご承認いただきました事業計画に基づき、事業を積極的に推進して参りたいと考えております。

主要な事業は次のとおりです。

まず、通信分野につきましては、引き続き、第5世代移動通信システム（5G）やM2M等、高度な無線通信システムの研究開発や標準化に積極的に取り組んで参ります。特に、一昨年度から取り組んでいる5G総合実証実験については、今年度が最終年度となりますが、5Gは社会経済活動を支える社会インフラとの視点から推進して参りたいと考えております。

ITSにつきましては、内閣府のSIP（戦略的イノベーション創造プログラム）の一つとして推進されてきた「自動走行システムの研究開発」が昨年度で終了し、新たに第二期計画として「自動運転システムの研究開発」がスタートしており、無線通信に対する期待がますます高まっております。このような動きに的確に対応するとともに、本年10月から11月に開催される世界無線通信会議（WRC-19）において我が国の権益確保のために当会としても尽力して参ります。

さらに、自営無線通信システムの高度化に関する調査研究を引き続き推進するとともに、昨年開始したテラヘルツ帯や気象レーダに関する調査研究を継続して参ります。

放送分野につきましては、昨年12月1日より「新4K8K衛星放送」の実用放送が開始され、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けての受信機の普及拡大を期待しております。

総務省は地上テレビ放送の高度化のための研究開発などを進めており、当会としてもこれに的確に対応して参ります。さらに、我が国の地上デジタルテレビ方式（ISDB-T）の採用国は我が国を含め20か国となっており、引き続き採用国への技術支援に取り組んで参ります。

電磁環境分野につきましては、引き続き、電波と人体に関する問題について調査研究や広報活動を積極的に進めていきます。

このほか、照会相談業務等のコンサルティング、情報提供業務、講演会等の開催や年鑑、機関誌等の発行による普及啓発、ITU、3GPP、APT、GSC、CJK 等関連標準化機関・団体との連携・協力等の事業につきましても、昨年度と同様に積極的に推進いたします。

このような事業計画に基づき、私ども役職員は一丸となって業務を積極的に推進したいと考えておりますので、皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に皆様方のますますのご発展をお祈り申し上げますご挨拶とします。

ARIBからのお知らせ

第 166 回電波利用懇話会開催のお知らせ 「テラヘルツセンシング・イメージングの 最新技術開発動向と実用化に向けた近未来展望」

概ね 250GHz～1THz を中心としたテラヘルツ波は、極めて短波長である、広帯域な周波数確保が可能、直進性が高いわりに適度な透過性を持つ、といった特徴を備えており、様々な応用の可能性を秘めています。例えば、通信分野においては光ファイバー級の高速度無線通信が可能であり、センシングの分野ではミリメートル級の高分解能かつ非破壊非接触の新しいセンシング応用が期待されます。

しかしながら、テラヘルツ波の領域は、発振器・検出器実現の難易度の高さもあって、これまで十分に開発と利用が進んでおりませんでした。近年のデバイス技術の長足の進歩によりいよいよ実用化の兆しが見えつつあります。

今回の電波利用懇話会では、適度な透過性、高分解能、物質固有のスペクトルが多数ある、といった他の周波数帯には無いテラヘルツ波の特色を、センシングあるいはイメージングの分野に生かすための技術の最新動向と近未来展望について、それぞれの分野の専門家をお迎えしご紹介いただくとともに、テラヘルツ波利用システムの実用化に際し考慮が必要と思われる電波法関連の事項についても解説をいただきます。

会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようにご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 : 2019 年 4 月 18 日 (木) 14 時から 16 時 35 分まで
- 2 場 所 : 一般社団法人電波産業会 会議室
東京都千代田区霞が関一丁目 4 番 1 号 日土地ビル 11 階
- 3 題 名 : 「テラヘルツセンシング・イメージングの
最新技術開発動向と実用化に向けた近未来展望」
各講演の題名はプログラムに記載

- 4 講師：プログラムに記載
- 5 参加者：60名程度（定員になり次第締め切らせていただきます。）
- 6 申込先：当会ホームページの講演会等開催案内よりお申込ください。
<https://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>
- 7 参加費：ARIB正会員、賛助会員は無料、非会員は5,000円
- 8 問合せ先：企画国際部 電波利用懇話会事務局 辻道 まで
 TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar2019@arib.or.jp

プログラム

時間	次第	講師
13:30	開場	
14:00	開会	
14:00～ 14:05	開会挨拶(ARIB)	一般社団法人電波産業会 企画国際部 部長 杉林 聖
14:05～ 14:55	講演1 実利用が進むテラヘルツイメージング技術	国立研究開発法人情報通信研究機構 電磁波研究所 電磁波応用総合研究室 室長 福永 香 様
14:55～ 15:45	講演2 テラヘルツセンシング・イメージングの近未来展望	国立研究開発法人理化学研究所 光量子工学センター テラヘルツイメージング研究 チーム チームリーダー 大谷 知行 様
15:45～ 16:35	講演3 テラヘルツ技術に関わる電波法	国立研究開発法人情報通信研究機構 未来ICT研究所 所長 / テラヘルツ研究センター センター長 ARIB テラヘルツ調査研究会 委員長 寶迫 巖 様
16:35	閉会	

プログラムは予告なく変更される場合があります。

ARIBの動き

第273回技術委員会（放送分野）を開催

第273回技術委員会を開催しました。

- 1 日時：2019年3月27日（水）午後3時30分から4時25分まで
- 2 場所：当会第2会議室

3 議題

- (1) 技術委員会運営細則の改正について
- (2) デジタル放送システム開発部会の活動報告について
- (3) デジタル放送システム開発部会設置要綱の改正について
- (4) スタジオ設備開発部会の活動報告について
- (5) スタジオ設備開発部会設置要綱の改正について
- (6) 第 111 回規格会議の開催について
- (7) 各社からのトピックス
- (8) その他

今週の ARIB 内会合（4 月 1 日～4 月 5 日）

- 4 月 4 日（木） デジタル放送システム開発部会 宅内光配信方式検討アドホック
4 月 4 日（木） テラヘルツ調査研究会 第 9 回会合

今週の国際会合（4 月 1 日～4 月 5 日）

参加を予定している会合はありません。

総務省からのお知らせ

アンゴラ共和国における地上デジタルテレビ放送日本方式採用 【平成 31 年 3 月 25 日発表】

現地時間 3 月 20 日、アンゴラ共和国は、同国における地上デジタルテレビ放送方式の規格として日本方式の採用を決定しました。日本方式採用国としては 20 カ国目になります。

詳細については [【平成 31 年 3 月 25 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

平成 31 年度から実施する生体電磁環境研究及び電波の安全性に関する 評価技術研究の基本計画書（案）に関する意見募集の結果及び提案の公募 【平成 31 年 3 月 25 日発表】

総務省では、平成 31 年度における生体電磁環境研究及び電波の安全性に関する評価技術研究の提案の公募に先立ち、本研究を実施する上での基本計画書（案）について、平成 31 年 2

月 8 日（金）から同年 3 月 11 日（月）までの間、意見の募集を行いました。その結果、3 件の意見の提出がありましたので、提出された意見及びそれらに対する総務省の考え方を併せて公表しています。

また、意見募集の結果等を踏まえて、基本計画書を確定し、それに基づく研究提案の公募を、平成 31 年 3 月 26 日（火）から同年 5 月 8 日（水）まで実施しています。

詳細については [【平成 31 年 3 月 25 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

会員からのお知らせ

一般財団法人電波技術協会は、2019 年度情報通信月間参加行事として、「電波が創る明日の日本」をテーマに、「第 30 回電波技術協会セミナー」を下記の内容にて開催いたします。

<記>

テーマ：「電波が創る明日の日本」

- 開催日時： 2019 年 5 月 16 日（木）13 時 00 分 ～ 16 時 30 分（12 時 30 分開場）
- 開催場所： 千代田放送会館 東京都千代田区紀尾井町 1 - 1
- 演題・講演者：

講演Ⅰ「放送政策の最新動向」	(13:10～14:10)
総務省情報流通行政局 官房審議官	奈良 俊哉 様
講演Ⅱ「最新の電波政策 ～電波制度とローカル 5G について～」	(14:20～15:20)
総務省総合通信基盤局 電波政策課長	布施田 英生 様
講演Ⅲ「5G のリアルと未来」	(15:30～16:30)
株式会社 NTT ドコモ 執行役員 5G イノベーション推進室長	中村 武宏 様
- 定員： 220 名（予定）
- 参加費： 無料
- 申込方法： 以下の電波技術協会のホームページより 4 月 4 日（木）から 4 月 25 日（木）までにお申し込みください。

一般財団法人電波技術協会ホームページ：<https://reea.or.jp/>

（定員になり次第、締め切らせていただきます。）



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp